

「幸水」のシアナミド散布適期情報

令和6年1月29日

シアナミド液剤は、なしの発芽(開花)促進に効果がある薬剤です。十分な効果を得るためには、適期に散布する必要があります。農試圃場(金沢市才田)における適期は、次のように予測されます。

シアナミド液剤の散布適期 1月22日 ~ 2月22日

※1：散布最適期は1月31日~2月13日(DVI値1.8~2.2)です

※2：散布適期は今後の気温により変わるので、気象予報等を参考に判断します

※3：散布適期は、気温が低いと短く、気温が高いと長くなります

※4：昨年の散布適期は1月20日~2月21日でした

散布時の注意点

- 樹勢が弱い樹は薬害(芽枯れ)を生ずる恐れがあるので散布しないで下さい。
- 十分な効果を得るには散布した薬液が完全に乾く必要があるので、降雨等がない日を選んで散布して下さい。
- 散布方法など不明な点は、お近くの農林総合事務所へお問い合わせ下さい。

シアナミド液剤(商品名: CX-10)の農薬登録情報

作物名	栽培方法	使用方法	使用回数	希釈倍数	使用液量	使用時期	シアナミドを含む農薬の総使用回数
なし	施設、露地	立木全面散布	1回	10倍	150~200ℓ /10a	収穫・落葉後 ~発芽前	1回
		結果枝、発育枝に散布		15倍	—		

発行：石川県農林総合研究センター